

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

新潟ベストバランス住宅

グループの名称

新潟ベストバランス地域協議会

直近採択グループ番号

06-0597-0325

(グループ代表者)

代表者名	神田 忠明	代表者印
代表者所属先	株式会社時代の家niigata	
代表者所在地	新潟県新潟市中央区女池東1丁目5番11号	
代表者電話番号	025-246-1330	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社鶴岡屋	
事務局担当者名	野澤 博	印
事務局郵便番号	959-3132	
事務局所在地	新潟県村上市坂町3589	
事務局電話番号	0254-62-4255	
事務局FAX	0254-62-5523	
事務局担当者E-mail	h-nozawa@tsuruokaya.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		12	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	12	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		6	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		6	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	未経験事業者に優先して配分することとする、又受注の決定している事業者に優先して配分する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	5	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 新潟ベストバランス住宅	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 新潟ベストバランス地域協議会	(結成年) 2006年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0597-0325	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・軟弱地盤が多いため、地盤状況を重視し地盤調査を最低5ポイント実施する。 ・冬の寒さに対応するため、断熱性能を重視し外皮計算を行い、H28年省エネ基準以上とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・積雪地に見合う屋根強度を確保するため、垂木寸法は60×45以上とする。 ・隣地への落雪を考慮して隣地境界線までの距離を十分確保するか、落雪しないような屋根材を選択する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・住宅の入り口付近には落雪しないように庇を付けるなどの配慮をする。 ・夏の暑さ対策と通風に配慮した窓の配置計画をする。	◎
④①～③の背景	・新潟県は豪雪地帯(寒冷地)のため、冬は寒く積雪も多い、一方夏は高温多湿な気候である。 ・軟弱な地盤が多く、過去に数度にわたり大地震を経験している。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・高断熱高気密や高耐震な住宅の未経験事業者に対し、設計施工の勉強会等を行うこととし、未経験事業者でも対応出来るようにグループとして支援する。 ・BELS工務店、ZEHビルダーの育成に協力する。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・柱土台を105角か120角にする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・金物を新潟県産か富山県産を使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・構造材の標準仕様書を事務局が中心となり作成する。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・木材については産地・樹種・寸法を標準化し、共同購入することによってコスト削減を図る。 ・建材サッシ機器類はメーカーを絞り込む。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・資材の調達共同化を進め、コストの削減を図り在庫するなどして安定供給を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・生産の合理化に向けた生産合理化委員会を組織し、新技術を協議しその内容を広く共有する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・国又は地方公共団体で行われるほじょ制度の情報を構成員に周知する。 ・新商品・新工法などの情報の収集に努め構成員に周知する。 ・委員会の招集を行い委員会での検討事項等を構成員に報告する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・フラット35の設計施工基準を順守する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・住宅の断熱気密工終了時に気密測定士による気密測定を実施し高気密住宅であることを報告書にまとめる。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・見積書は建築士が見て理解できるように(～式)と言う形は使わない。 ・メーカー名・品番等があるものは明記する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・構造見学会を開催し、可能であればその場で気密測定を行い、性能の良さを確認してもらう。 ・できるかぎり完成見学会等も開催する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・事業者の代表者等で協議する場を設け、早い時期の実施を実現するよう努力する。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・熟練度や技術、保有資格などにより年収差に差をつけることとする。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・基本的に社会保険には加入する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 安全対策として、ヘルメットや安全帯などの使用を実施する、健康診断を必ず実施するようにする。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	該当ありません	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 新潟ベストバランス住宅	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新潟ベストバランス地域協議会	(結成年) 2006 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0597-0325	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・住宅履歴情報機関(いえかるて)を利用し、設計図書を保管する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・いえかるて正会員である第三者機関である、プロパティオン株式会社を活用する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・施主ごとの図面、点検結果の登録状況を事務局IDで直接確認する。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・診断や点検の検査項目はチェックリストを作成し統一したものを利用する。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・メンテナンスを行った際は住宅履歴情報に工事内容を記載する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: いえかるての点検結果チェックシートの登録状況を年2回確認する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・現場見学会の時など年数回OB客も含め住まいの管理手帳などを利用して勉強会をする。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・現場見学会等の時など年数回OB客も含めDIY相談会を実施する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・年2回程度、住宅融資・税制・補助金などの相談会を、事務局が中心となって実施する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・年2回程度事務局を中心にインスペクターも参加した維持管理委員会を開催する。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・共通の維持管理のチェックリストを作成し、それにもとづいて維持管理する。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・グループ構成員が倒産又は廃業した場合、事務局で代替履行事業者を斡旋する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・構成員の過去の瑕疵等の情報を元に対応方法を検討する勉強会を実施する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・点検は基本的には構成員自身が行うが、要望があれば事務局がインスペクターを手配する。	○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・グループ主催の講習会年1回以上開催や外部の研修会にも積極的に参加する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・工事期間に施工精度がいいか間違った施工がされていないか、チェックシートで確認する。	◎
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・上記で確認したチェックシートを住宅履歴情報に記載し、事務局IDで直接確認する。
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・施工構成員の受注状況を流通構成員が把握し地域材の在庫を計画する。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・BELSの勉強会を行うことによりBELS工務店の育成をするようにする。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 25 今年度の参加目標人数 10
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 18 今年度の参加目標人数 10	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・対象者を把握し開催日時を案内し、年度内に目標が達成できるよう努力する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・省エネのため蓄電池の導入を推進する。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		該当ありません	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 新潟ベストバランス住宅	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新潟ベストバランス地域協議会	(結成年) 2006年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0597-0325	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	地域材利用に関する共通ルール(必須) 主要構造材・土台: 桧の合法木材証明制度(国内)・通し柱: 杉の越後杉ブランド認証材、合法木材証明制度(国内)、オウシュアカマツの合法木材証明制度(国外)・管柱: 杉の越後杉ブランド認証材、合法木材証明制度(国内)、オウシュアカマツの合法木材証明制度(国外)・梁桁: 杉の越後杉ブランド認証材、合法木材証明制度(国内)、オウシュアカマツ又は米松の合法木材証明制度(国外)・主要構造材は100%地域材とし(化粧柱は除く)できるだけ国産材を利用する。	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
③	標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材: 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材: 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材: 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材: 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 	
b		
①-1	地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・流通事業者は施工事業者にいつでも情報提供できるよう準備する。	◎
①-2	地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・施工事業者と流通事業者で情報を共有し安定供給に努める。	○
c		
①-1	畳の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-2	和瓦の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 新潟県産の安田瓦を使うよう努力する。	○
①-3	襖の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-4	障子の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1	その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2	その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d		
①	地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②	地域の住まい方の継承につながる取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・地域で行われる研修会などに積極的に参加し、又企画することで地域にあった家づくりの情報を発信する。	◎
③	地域の街並み形成へ寄与する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④	和の住まいの要素を取入れた取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 該当ありません	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	・イベントの記念品として、被災地の産品を利用する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	・イベントの記念品として、被災地の産品を利用する。・熊本産の杉材をできるかぎり利用する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 新潟ベストバランス住宅	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新潟ベストバランス地域協議会	(結成年) 2006年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0597-0325	

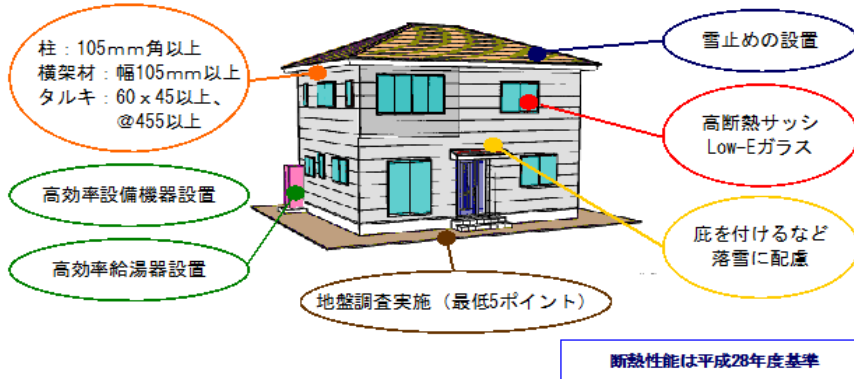
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

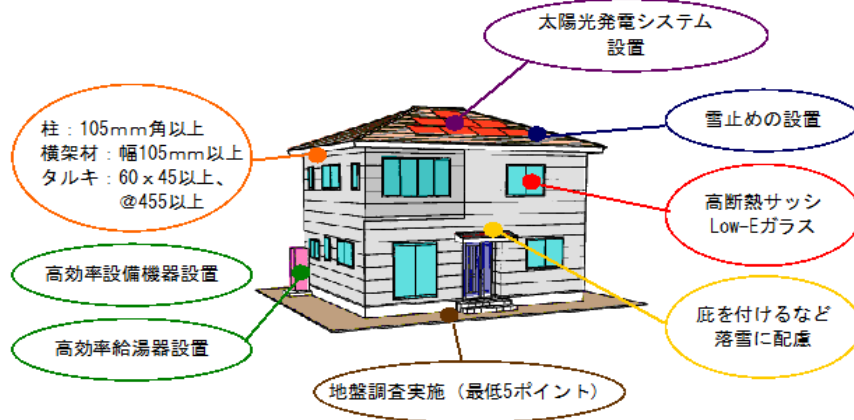
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

認定低炭素型住宅・性能向上計画認定住宅・優良建築物型の特徴



ゼロ・エネルギー住宅の特徴



ゼロエネ		
	新潟ベストバランス住宅4地域	新潟ベストバランス住宅5地域
UA値 (w/m ² ・k)	0.6	0.57
RO値 (%)	23.0	27.0
太陽光発電量(kw)	5.52	4.76
断熱性能	平成28年度基準	
省エネ機器	高断熱浴槽・水優先吐水機能水栓・手元止水機能水栓・LED照明器具等	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。